

『落とし物の報告アプリの作成』 活動概要

後藤桃衣

1. 目的

「落とし物発見者が落とし物情報を地図上に投稿し共有することで、落とし主は自分の移動経路から簡単に探し出せるのではないか」というアイデアをもとに、iOS アプリを開発。活動を通してアプリ開発の実践的なスキルを修得する。

2. 計画

開発未経験から独力で ChatGPT3.5 を活用し予算 0 円でアイデアを具現化、プロトタイプを作成することを目標とする。

3. 開発方法

ChatGPT でコードの枠組みを生成し、内容を解説させ、その後公式ドキュメント等を参考にコードを修正する。また、個人で効率的に開発するため、Git やその他ツールを活用し、開発状況を管理する。

4. 活動経過

総活動時間は 196 時間で、アプリの方針決定から環境構築、コーディング、ポスター制作、デモ動画制作まで段階的に進めた。

5. 実装内容

スプラッシュ画面、メイン画面、カメラ画面、投稿画面の 4 つの画面を作成。各画面に様々な機能を実装し、手軽な投稿を促進する UI/UX の工夫を凝らした。

以下の URL にデモ動画を置く。

https://drive.google.com/file/d/16bCWZqoPGpc516t-1f_ItkX2D2Fnc2wA/view?usp=sharing



6. 活動結果

ChatGPT3.5 が生成するコードは不完全であるが、ChatGPT に生成したコードを自ら解説させることは、文法の学習に非常に有用であり、予備知識ゼロで始めた Swift にも十分に慣れることができた。全くの無知であった開発環境の構築法や Git を用いたバージョン管理などについても、活動を通して学習できた。

7. 展望

アプリの本格的な運用に向けてデータベース化やセキュリティ対策、追加機能の検討がある。ChatGPT4.0 や GitHub Copilot の利用など、新しいツールの導入も視野に入れて開発を進めたい。